

平成29年1月19日

輸送動向について（平成28年度第3－四半期）

1. 輸送概況

10月の台風18号接近、11月の鹿児島線架線切断、12月の北海道東北地区暴風雪などの影響により高速貨152本、専貨6本が運休となった（前年は、高速貨118本が運休）。また台風10号の影響で不通となっていた石勝線・根室線については、復旧までの間トラック・船舶による代行輸送を実施した。

コンテナは、自動車部品が熊本地震で被災した現地工場復旧及び自動車販売台数増加に伴い増送となったほか、化学工業品も前年を上回った。またエコ関連物資については、北海道内建設発生土輸送が好調となったほか、ドライバー不足を背景に積合せ貨物が堅調に推移した。

一方、紙・パルプが印刷紙・コート紙の需要の落ち込みにより大幅な減送となった。更には、台風10号の影響を主因として野菜類・馬鈴薯が減送となったことに加えて、東北・新潟・北陸地区からの民間流通米輸送が低調に推移したことにより前年を下回った。その他、化学薬品、食料工業品が前年に届かず、コンテナ全体では前年比98.8%となった。

車扱は、石油が11月に関東地区で記録的に早い積雪を観測するなど、気温低下に伴い灯油を中心に増送となり、車扱全体では前年比105.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比100.6%となった。

2. 輸送実績

（単位：千トン、％）

種別 扱別	3－四半期計		
	本年実績	前年実績	前年比
コンテナ	5,859	5,931	98.8%
車扱	2,465	2,339	105.4%
合計	8,324	8,270	100.6%

3. 品目別輸送実績表

（単位：千トン、％）

扱別	品目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	648	694	-46	93.4%
	化学工業品	548	545	3	100.5%
	化学薬品	385	394	-9	97.6%
	食料工業品	963	971	-8	99.1%
	紙・パルプ	805	852	-47	94.5%
	他工業品	399	406	-7	98.4%
	積合せ貨物	723	720	3	100.4%
	自動車部品	204	177	27	115.0%
	家電・情報機器	113	115	-3	97.7%
	エコ関連物資	117	111	6	105.3%
	その他	955	945	10	101.0%
コンテナ計	5,859	5,931	-72	98.8%	
車扱	石油	1,676	1,582	94	106.0%
	セメント・石灰石	359	360	0	99.9%
	車両	250	233	18	107.6%
	その他	179	164	14	108.7%
	車扱計	2,465	2,339	125	105.4%
合計	計	8,324	8,270	53	100.6%

（車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値）